

講習概要（シラバス）

講義名： 伝統から創造へー漆塗り造形の世界ー

講師： 田中 信行

漆は日本においては箱や椀、箸など日常の器物をはじめ、古くから様々な用途に使用されてきた伝統的な素材です。また、日本、中国、韓国、ベトナム、タイ、ミャンマーなどアジア固有の自然素材でもあります。そのような素材である漆の魅力と可能性について、空間との関係から考察します。

講義名： 単一素材の集積によって多様な彫刻をつくる

講師： 芝山 昌也

彫刻の分野は拡がり続けています。建築的な彫刻から極小な彫刻、仮想空間の彫刻まで、その範囲は誰も把握しきれていません。素材や技法についても同じで、彫刻には決まったルールがありません。ですが、あらゆるものを自由に構築しても作品にはなりにくいものです。彫刻作品を自立させるには、個々のルールが必要です。そこで、今回は「釘をハンダでつける」というシンプルな方法の連続によって、小さな彫刻をつくります。

- ・ 単一素材を用いた彫刻作品例を説明
- ・ ハンダコテの扱い方、釘の接着方法の説明
- ・ 多量の釘を使って彫刻作品の制作
- ・ 完成作品を制作者が互いに講評

講義名： 展示デザインを体験する

講師： 角谷 修

展示についての簡単な歴史からその成り立ち、実践的な機能や効果の解説さらにデザイン的な考え方について実例を示しながらレクチャーを行う。また実技として実際の展示環境を再現しながら展示デザインの企画を立案し、その企画提案書（要点とスケッチ等）を作成する。

- ・ 参考作品をもとに展示方法の考察、試作を試みる
- ・ 展示環境を再現して展示物を適切に配置、検証する
- ・ 企画提案書の見直しと最終取りまとめ

講義名： グループ討議 ー教育への示唆ー

講師： 荷方 邦夫

本講座では、更新講習の締めくくりとして、小グループによるグループ討議を行う。講習で取り扱った美術・造形の最新事情や方法論を教育実践へ発展させることの可能性や、その手法について幅広く議論を行うことを目的としている。

- ・ 受講者自身の美術・造形教育との関わり
- ・ 「新しい流れ」を多くの人に伝えるために
- ・ 美術教育の今後の課題、課題に応えるためにいまなすべきこと